

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	口腔保健センター補助事業				シート番号	011-175
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進	課 評価責任者(課長名) 河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 2 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市口腔保健センター運営補助金交付要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成2年4月、堺市における包括的な歯科保健医療の推進のための拠点施設として、堺市歯科医師会が堺市口腔保健センターを開設。ここで実施する心身障害者(児)の歯科診療、歯科衛生士の養成及び歯科保健に関する指導・啓発などの公益的な事業に対し運営補助を開始した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市口腔保健センターの運営			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市民啓発を行い、市民の生涯にわたる歯の健康づくりの意識を向上する。障害者歯科診療を行い、高齢や障害等により通院による歯科診療を受けることが困難な市民の歯科診療を確保する。歯科衛生士を養成し、歯科診療所等における歯科衛生士の量的・質的確保を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	地域における包括的な歯科口腔保健医療を推進するため、「治療(障害者歯科診療所)」「啓発(市民啓発室)」「養成(歯科衛生士専門学校)」の機能を備えた口腔保健センターを運営する堺市歯科医師会に補助を行う。 なお、歯科衛生士専門学校の合計定員は120人(学年定員40人)、修業年限は3年間である。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 一般社団法人 堺市歯科医師会				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	47,940	47,940	47,940	47,940	47,940	47,940	47,940
主な事業費内訳	補助金	千円	47,940	47,940	47,940	47,940	47,940	47,940
		千円						
		千円						
		千円						
財源内訳	国・府支出金	千円						
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
	市債	千円						
	その他( )	千円						
一般財源	千円	47,940	47,940	47,940	47,940	47,940	47,940	47,940
12 人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	820
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	48,760	48,760	48,760	48,760	48,750	48,750	48,760

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	口腔保健センター補助事業	シート番号	011-175
-------	--------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	<p>堺市口腔保健センターにおいて、市民啓発室「歯のスマイル館」での啓発、障害者歯科診療及び歯科衛生士養成を実施。これにより、歯の健康づくりに関する市民意識の向上及び通院困難な障害者等の歯科診療の機会確保、歯科衛生士の量的・質的確保に繋がった。</p> <p>&lt;令和元年度 実績&gt; 市民啓発として、歯のスマイル館において歯の機能や役割を市民に楽しみながら理解していただけるよう、ビデオコーナーやコンピューターグラフィック等を活用し、歯のしくみ、むし歯や歯周病の予防、歯の治療について遊びながら学べる啓発を、子どもから大人まで年間3,000人以上に行った。また、歯の健康づくりの推進のため、5月に「歯のスマイル館フェア」、11月に「歯ッピー健康フェア」を開催するとともに、よい歯のコンクールや歯の図画・ポスター表彰を実施した。令和元年度の総来場者数は3,001人であり、うち幼稚園及び保育園からの見学者が371人であった。 障害者歯科診療では、令和元年度の診療日数は97日、延べ受診者数は2,232人であった。 歯科衛生士専門学校では、歯科衛生士法に基づく歯科衛生士の養成を行っており、令和2年3月の在籍者数は108人で、うち市内在住の在籍者数は73人である。</p>						
	15	障害者歯科診療受診件数	件	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標値	2,300	2,300	2,300	2,300
				実績値	2,125	2,127	2,232	
				達成率	92%	92%	97%	
				評価	普通	普通	普通	
			算出方法・設定根拠など					障害者歯科診療の延べ受診者数。
	16	歯科衛生士専門学校の卒業生数	人	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				目標値	36	36	36	38
				実績値	41	36	43	
			達成率	114%	100%	119%		
			評価	良い	良い	良い		
		算出方法・設定根拠など					令和2年度の目標値は、実績値を踏まえて定員の95%を目標とする。	

#### 事業の効率性

区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	障害者歯科診療受診件数	件	2,125	2,127	2,232
	②	上記①にかかる年間経費	千円	17,850	17,850	17,850
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	8,400	8,392	7,997
	備考(算出についての説明等)					
区分		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
18	①	在学者数	人	121	112	108
	②	上記①にかかる年間経費	千円	26,400	26,400	26,400
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	218,182	235,714	244,444
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

19	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>市民啓発室「歯のスマイル館」の来場者数は、前年度比同水準で推移。幼稚園や保育園の子どもから大人までの幅広い年齢層向けに、歯の機能や役割、歯周病等の予防の重要性や知識を普及啓発することに繋がっている。これにより、将来的な健康寿命の延伸に資する。 また、障害者歯科診療の受診者数も、前年度比同水準で推移。高齢や障害等により通院による歯科診療を受けることが困難な市民の歯科診療の確保に寄与している。</p>
----	--

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	口腔保健センター補助事業	シート番号	011-175
-------	--------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 障害者歯科診療を一般の歯科診療所で行うことは困難であり、必要不可欠な事業。廃止した場合、年間2,000人以上の方の受診機会を失する。また、歯科衛生士の従事者数が慢性的に不足しているなか、本市の歯科衛生士確保に不可欠な事業。廃止した場合、歯科衛生士不足から本市の歯科診療体制に影響を及ぼす。さらに、口腔保健の市民啓発を廃止した場合、子どもから大人まで年間3,000人以上に啓発し将来的な健康寿命の延伸に資する機会を失する。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 休止の場合の再開時期 上記と同様の理由から休止はできない。 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 同事業は、主に一般の歯科診療所で受診困難な障害者への歯科診療及び歯科衛生士の養成に必要な経費(人件費等)への補助であり、市内の地域医療や救急医療体制を維持し市民の健康や命を守るためにも、同事業のコスト縮減はできない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 同事業の補助対象となる経費について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の恐れから、3密を避けるためにイベント中止等の対応をしている。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	<b>理由・説明</b> 市内診療所とのネットワークや専門的知見を有する堺市歯科医師会が運営することで、市直営での実施と比べて効果的で低コストに実施できている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		<b>所見</b> 歯科口腔保健の充実は、市民の健康維持及び増進に寄与するため、引き続き、市民啓発や障害者への歯科診療等に取り組む。		